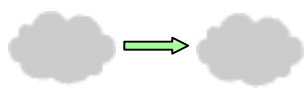

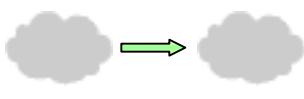







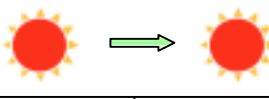




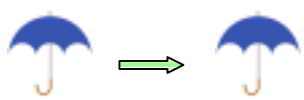

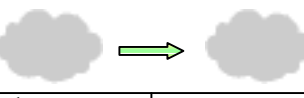




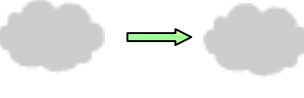














## 【産業動向概要】

<b>産業全体</b> 	<p>07年7月を中心とする県内経済の動向は、個人消費は概ね横ばいで推移し、また公共工事は減少傾向にあるものの、企業の生産面は堅調、設備投資も増加基調を維持している。雇用面も有効求人倍率が5ヵ月連続して1.2倍台となるなど堅調に推移している。このように、県内経済は、需要面は概ね横ばいであるが、生産面・雇用面は堅調であり、全体として緩やかに回復の動きを続けている。</p>
--	--






























<b>観光・旅館業</b>	 	<p>伊豆地区の夏休み期間中の動向は、梅雨明けの遅れた7月は宿泊客数・観光客数とも不振だったものの、8月は天候が安定して集客が回復、期間全体では概ね前年並み程度の集客となった地域が多い模様。</p>
<b>紙類</b>	  衛生用紙  板紙 	<p>古紙価格は引き続き上昇基調。家庭紙の製品出荷は堅調であるが、製品価格の引き上げ実現に向けた今後の動向が注目される。段ボール原紙は製品価格値上げが実現したが、原燃料価格の高騰が著しく、メーカーのコスト負担は重い。</p>
<b>水産業</b>	 	<p>5～7月の静岡県主要漁港の水揚量は世界的な魚食ブームでマグロ、カツオ共に大幅に減少し、全体としても前年比マイナス。水揚量の大幅な減少に伴い水揚高も減少。</p>
<b>一般機械（主要）</b>	  金属工作機械  金型  パルプ及び製紙機械、プラスチック加工機械 	<p>金属工作機械は二桁成長が継続、5～7月で200億円の大台を突破。金型は引き続き二桁のマイナスが継続するが、7月単月ではプラスに転じる。パルプ及び製紙機械、プラスチック加工機械は、一転して二桁の増加に転じ一進一退を繰り返している。</p>
<b>木材</b>	 	<p>5月～7月の県内新設住宅着工戸数は順調に推移し、8期続けて前年を上回る。しかし、改正建築基準法施行の影響で8月の同戸数は大きく減少。その影響で需要が減少している木材価格の動向を含め、現場の混乱の収束状況を注視する必要がある。</p>
<b>缶詰</b>	  水産缶詰  農畜産缶  飲料缶類 	<p>ツナ缶はマグロ・カツオ共に欧米での需要増加から原料確保が難しく、生産量は縮小傾向。野菜缶詰の生産量は、堅調に推移。飲料缶類は猛暑であったが、自社ブランドの内製化進行により全体として横這い。</p>
<b>楽器</b>	  ピアノ  電子楽器類 	<p>主力のピアノは、生産台数は前年並み。販売台数は堅調に推移。電子楽器類は電気・電子ピアノ、電子オルガンとも販売は量・額ともに順調に推移。電子キーボードは内需が下支えし、販売は順調な動きを見せる。</p>

輸 送 用 機 器		 → 	<p>4月～6月の遠州地域の二輪車生産台数は、国内向けが増加したが、主力の輸出向けが減少、全体では前年比マイナスで推移。一方、自動車部品メーカーは生産水準は高いが、原材料高、設備投資負担増から今後いかに利益を確保していくかが課題。</p>
	二輪車 	自動車部品 	

				
明　　る　　い	やや明るい	停　　滞	やや不振	不　　振

## 《産業別天気マークの推移》

 明るい 
  やや明るい 
  停滞 
  やや不振 
  不振

調査対象時期 (公表時期)	05/7 (05/9)	05/10 (05/12)	06/1 (06/3)	06/4 (06/6)	06/7 (06/9)	06/10 (06/12)	07/1 (07/3)	07/4 (07/6)	07/7 (07/9)
概況 	 								
観光・旅館業 	   								
紙類 	 								
水産 	  								
一般機械(主要) 	   								
木材 	 								
缶詰 	 								
楽器 	 								
輸送用機器 